

「違いを楽しむ」

能美中学校3年 中川 碧

皆さんは、価値観の違いで困った経験はありませんか。

人は皆自分の価値観を持っています。価値観とは、どんなことに価値を見出すかという人の感じ方や思想のことです。価値観は人によってさまざまで、何に重きを置くかなど物事の捉え方によって変わってきます。

価値観の違いからちょっとした誤解を招いたり、言い争いになることがよくあります。恋愛の価値観の違い、金銭感覚の違い、仕事の価値観の違い、様々な理由が原因で、皆さんも家族や友人と喧嘩をした経験があるのではないのでしょうか。また、価値観の違いから戦争に繋がったりと、国際問題に発展するケースも見られます。しかし、価値観が違うことはデメリットばかりではありません。そう思う理由について、まずは私自身の中学校生活での体験をお話します。

私は三高小学校出身です。卒業後に入学する中学校をどうするか迷っていました。三高中は他の中学校に比べて生徒数が少ないので、もっと沢山の人と出会うことができたなら、自分にはない意見や考え方を知ることができるのではないかと思ったので、能美中学校への入学を決めました。

三高小学校出身の生徒はやはり私だけで、入学当初はクラスに馴染めるかどうか、期待よりも不安の方がとても大きかったです。しかし、今ではお互いを高め合えるような関係を築くことができています。そんな関係になるまでには、もちろん友達とぶつかり合うことがありました。

私が最も印象に残っていることは運動会です。私は今年の運動会で応援リーダーを務めました。練習期間中に同じリーダー同士で私達は何度も衝突することがありました。演舞の練習を上手く進行していくための手段についてそれぞれ考え方が違いました。お互い自分の意見を主張するばかりで、話し合いというよりも喧嘩になることがよくありました。それでも私達の目標は一つでした。それは運動会で勝利するということです。私は、自分の意見を主張するばかりでしたが、ぶつかり合うのは皆も勝つために必死だからなんだと気づき、仲間の意見を聞くようになりました。仲間の意見を聞いて、「そうか、こういう考え方もあるんだ」と自分の考えの効率の悪さや不備な点など、様々な新しい発見がありました。このとき、違う視点をもつ人と意見を共有しあうことは、とても素晴らしいことなのだと気づきました。

結果的に私が所属していた団は負けてしまいましたが、私は皆で同じ目標に向けて頑張れたことが何よりも嬉しかったし、まさに違いを楽しんだ瞬間だと思います。人とぶつかりあって、思いを尊重しあい、向き合ったことは、生まれて15年間の中で初めての経験でした。きっとこの運動会は、これから先一生忘れない思い出になると確信しています。

人は、何を大切にしたいか、その価値観はみんな違うし、同じ目標を持っていても、そこにたどり着くために考えつく方法は違うかもしれません。私はこのような経験から、3つのことを学びました。

1つ目は、相手の価値観を理解しようとする姿勢を持つことです。

2つ目は、お互いに本音を話し合うことです。

3つ目は、考え方の違いを楽しむということです。

価値観が違うということは悪いことばかりではありません。価値観の違いを楽しむと、自分の中の選択肢や世界観を広げることができます。人が経験できることには限りがあり、そんな時には他の人の新鮮な価値観がとても役立ちます。価値観が異なる人の意外な発想やユニークな考えは、生活する上で自分に思わぬヒントを与えてくれることがあるのです。

そんな、”違いを楽しむ” ことにおいて最も重要なことは、自分一人だけの解決を望まずに、多くの人と意見を共有し合うことだと思います。それは、多くの人と出会うということです。私は、これからもたくさんの人との出会いを大切に、自分がどうなりたいのか、どうしたいのか、自分らしさとは何か、考え続けたいです。自分らしい価値観を持つために、より豊かな人生を送るために、自分について考え続け、周りの人の意見も頼りながら、自立した立派な人間を目指していきたいです。